平成25年度 三島村立 三島小中学校





生活二題: 明るく元気なあいさつをしよう!!

時間を守り、機敏な行動をしよう!!

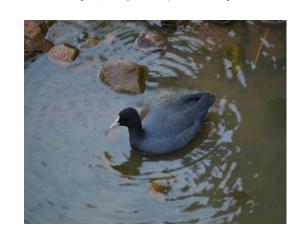
自然のありがたさと怖さ

柏木博之

ツワブキの黄色い花が咲き始めました。椿のつぼみも日に日に大きくなっています。今年もヒョドリがいっぱい島に来ています。来年も椿の実がたくさん取れそうです。そのヒョドリを襲って食べるハヤブサなど 猛禽類も来ています。長浜橋の下には、オオバン(写真)が来ていました。私は初めて見ました。

天気のよい日に外を歩くと色々な種類の鳥を見ることが できます。硫黄島の自然の素晴しさを味わえる季節です。

太陽が出ていない時間も楽しめます。今年最大の天体ショーであるアイソン彗星の観測報告が出てきました。日の出前の東の空に見えます。11月25日~11月30日ごろは太陽に近づきすぎるため観測には適さず、12月になると、また日の出前に東の空に見ることができるそうです。アイソン彗星は、ハレー彗星のように周期的に太陽の周りを回っていません。もう地球のそばに来ることはありません。二度と見ることができないアイソン彗星の尾をひいた姿を一度肉眼で見てください。

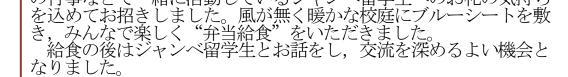


11月号

人工の物体ですが、国際宇宙ステーション(ISS)も見ることができます。東洋人として初めて船長になった若田光一さんが乗っています。11月30日の朝6:00に北北西から見え始めて、東南東に向って飛行機より光って動くISSが見られます。見逃しても、ISSは毎日何回も地球を回っています。早朝、西日本を通過して見ることができる機会は今後もあります。

このように、自然は私たちに恩恵を与えることが多いですが、逆に牙をむくときがあります。台風26号による伊豆大島の土石流や台風30号のフィリピンの災害は記憶に新しいです。日本は毎年必ず自然災害が起きます。世界屈指の自然災害大国と言っていいでしょう。いつ、どこで起こるかだれも分からないのが自然災害の一番怖いところです。だから、備えておかねばなりません。硫黄島に影響する自然災害としては、南海トラフ地震発生の可能性があります。家族が家にいるとき、昼、学校や勤務先に分かれているとき等、状況を想定して、地震と津波が発生したらどうするか、家族で一度しっかり話し合っておきましょう。学校でも、「もしも」の備えをしていきます。

1日(金)に、ジャンベ留学生との弁当給食を実施しました。島の行事などで一緒に活動しているジャンベ留学生へのお礼の気持ち





みんなでがんばった "文化祭"

はじける笑顔深まる絆~島の人に重いよ届け~

2日(金)に文化祭を実施しました。オープニングの児童生徒・職員による手話ソング「ビリーブ」では、心を込めて歌い上げることができました。小学部は「よだかの星」。中学部は「俊寛」を熱演しました。そしてさらに、たけんこ学級のみなさんは東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を歌ってくださいました。

様々な舞台発表だけでなく展示発表も含めて、 子供たちは、日頃の学習の成果を生かした発表を 披露できたのではないかと思います。

御足下の悪い中、御参観くださった保護者や地域の皆様方、本当にありがとうございました。













「地域が育む"かごしまの教育"県民週間」 授業参観・グランドゴルフ大会

1日(金)~7日(木)は「地域が育む"かごしまの教育"県民週間」でした。期間中の6日(水)には、授業参観及びグランドゴルフ大会を実施しました。

保護者の方々はもちろんのこと高齢者の方々にも、日頃の子どもたちの学習や学校の様子を参観していただくことができました。恒例のグランドゴルフ大会は、おじいちゃん、おばあちゃんと子供たちがペアを組みました。そしてお互いに協力し合ったり、談笑したりして、楽しく過ごすことができました。保護者の方々をはじめ、地域の方々に学校の教育活動を知っていただくよい機会となりました。今後とも三島小中を宜しくお願いいたします。









児童生徒会活動をがんばります。

児童生徒会の後期活動に向けて役員改選を行いました。その結果,下記のように役員が決まりました。全児童生徒14人が「一人一役」で責任をもって,よりよい学校生活を築くために頑張ろうと決意を新たにしました。

[児童生徒会長] 柳野 安海(中2) [書記・会計] 樋渡 哲太(小6)

「一日本のでは、日本

〔生活委員会委員長〕 佐藤 彪(中1) 〔保体委員会委員長〕 若杉 悟(中1) [児童生徒会副会長] 平田 典哉(中1)

柏木 智貴(小5)

[生活委員会副委員長] 髙橋 侑(小5) [保体委員会副委員長] 柏木 智貴(小5)